

平成 20 年 9 月 19 日
特定非営利活動法人 CANVAS

こどものための最新ワークショップの博覧会

「ワークショップコレクション 2008 in 慶應義塾」開催のお知らせ

特定非営利活動法人 CANVAS（キャンバス：以下、CANVAS）並びに、慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構（以下、DMC 機構）は、2008 年 10 月 12 日（日）、10 月 13 日（月・祝）の 2 日間、慶應義塾大学三田キャンパス（東京都港区）にて、全国のこども向けワークショップを一堂に集めた“ワークショップの博覧会”、「ワークショップコレクション 2008 in 慶應義塾」を開催いたします。



*昨年度のワークショップコレクションの様子

開催概要

- 【名 称】 ワークショップコレクション 2008 in 慶應義塾
- 【日 時】 2008 年 10 月 12 日（日）11：00-17：00
2008 年 10 月 13 日（月・祝）10：00-17：00
- 【会 場】 慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎および第一校舎
（東京都港区三田 2-15-45）
- 【主 催】 特定非営利活動法人 CANVAS（キャンバス）
慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構
- 【協 賛】 クアルコムジャパン株式会社、株式会社CSKホールディングス（CAMP）、JAXA 宇宙教育センター、
スーパーサイエンスキッズ実行委員会、第一生命保険相互会社、ベネッセグリムスクール
- 【後 援】 経済産業省（申請中）、総務省、東京都教育委員会、港区教育委員会、有限責任中間法人融合研究所
- 【助 成】 UBS 「Kids in the Arts」公募助成プログラム UBS グループ、財団法人国際コミュニケーション基金（ICF）
- 【来場者】 8,000 人（見込）
- 【参加費】 無料（一部のワークショップ参加には材料費がかかります）

- 【対 象】
- ① ワークショップに参加希望のこども（未就学児～中・高校生）
 - *但し、各々のワークショップで対象年齢は異なります。
 - *保護者の方も参加できるワークショップもあります。
 - ② こども向けワークショップの開催に関心のある方
 - 教育関係者、行政関係者、大学関係者、ミュージアム関係者、企業関係者、アーティスト、ファシリテーター、各種 NPO 法人・団体、など

【WEB サイト】 ワークショップコレクション 2008 in 慶應義塾：<http://www.wsc.or.jp/>

*過去のワークショップコレクションの様子は以下のサイトからご覧になれます。

<http://www.wsc.or.jp/history.html>

「ワークショップコレクション」とは・・・

近年、こどもの新たな学びと創造の場として「ワークショップ」が注目されています。日本においても、こどもたちの創造力・表現力を刺激する、独自性のある優れたワークショップ・プログラムが全国各地で実施されています。ワークショップコレクションは、このようなこども向けワークショップ・プログラムの全国普及と発展を目的に、全国に点在するこども向け「ワークショップ」を一同に集め、一般へ広く紹介する博覧会イベントとして 2004 年度から毎年開催しております。全国各地でこども向けワークショップを実施している方々の発表／交流の場所となり、それらワークショップに参加／体験をするこどもたちの集まる場所となります。昨年度の「ワークショップコレクション 2007 in 慶應義塾」では 6,500 人の来場者でにぎわいました。今年度は、前回の倍となる 70 ワークショップが出展します。

ワークショップ出展者（順不同）

アクセサリー Hadiyah (ハディアー) 坂本由佳、朝倉民枝 (グッド・グリーン!)、東金属株式会社、アトリエオモヤ、アトリエミュレット・山口薫、IAMAS DIT コース 12 期生、IAMAS Gangu Project、株式会社イーケイジャパン、池田雪絵+川野恵子、「いまだて遊作塾」&「NPO法人森のエネルギーフォーラム」、越智正洋 (IAMAS)、おちゃっぴ、CHAOSMOS/ 富岡雅寛、筧康明、山岡潤一、赤塚大典、苗村健、神奈川工科大学 情報メディア学科 鈴木セミナー、環境 NGO 「いただきます!プロジェクト」、京都大学 西田・角研究室、久我山美術工場、クワクボリョウタ、慶應義塾大学 SFC マイアース・プロジェクト、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 (KMD) 奥出研究室 逆井寛、奥野隆大、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 (KMD) 稲蔭研究室、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 (KMD) 稲見研究室、慶應義塾大学 DMC 機構 芸術的アンサンブルの創出とその成長+NPO 法人にっぽん museum、慶應義塾大学 DMC 機構ミュージアム・コミュニケーション・チャンネル・プロジェクト、慶應義塾大学 DMC 機構「共感動経済と P2P 2.0 プロジェクト」、芸術造形研究所、酒井博美 (羊毛フェルトクリエータ)、櫻井総 (東京藝術大学美術学部デザイン学科)、株式会社 CSK ホールディングス (CAMP)、湘南台造形教室、JAXA 宇宙教育センター、JOYPOD、持続可能な開発のための教育の 10 年さいたま、スーパーサイエンスキッズ、角薫 (情報通信研究機構)、造形教室 工房なある、株式会社タカラトミー、第一生命保険相互会社 品質管理推進部、

chick こどもの創造のくに+子供のアトリエサロンドアンディーズ+クリエイター達、ちひろ美術館、中京大学ミヤタゼミ、デジタルミュージシャン・ネット、天文教育普及研究会世界天文年ワーキンググループ、ドゥイ、Dr.PIC 研究所、トリガーデバイス+ 布山タルト、なおや MAN (ケミカルエンターテインメント)、中村元宣 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科)、【にこにこ Lab】潮木祐太・さいとうともこ、西澤廣人 (埼玉県立所沢高等学校 ADE)、日本シミュレーション&ゲーミング学会「授業と教材」研究部会、パイパイワールド、有限会社ハガレックス・ジャパン、ハコシキ (オオクラテツヒロ)、株式会社ピコトン、深沢アート研究所、NPO 法人プラス・アーツ、プラト株式会社、ふりーえほん、ベネッセグリムスクール、放課後 NPO 「AfterSchool!!!」(応援：(独) 理化学研究所)、松村誠一郎 (東京藝術大学 芸術情報センター)、ミニエクスプロラトリウムを創る会、株式会社見果てぬ夢、武蔵野美術大学ヨコヤマゼミ+鈴木明、森 × 人とあそび屋わにわに、渡邊淳司 (科学技術振興機構さきがけ)・草地映介、渡邊淳司 (科学技術振興機構さきがけ)・早川智彦 (東京大学)・松井茂 (詩人)

主催団体紹介

CANVAS URL : <http://www.canvas.ws>

CANVAS は、こどものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てることを目標として、2002年11月に設立しました。一人ひとりの創造力と表現力を高めていく。そして、日本を表現大国にし、世界のコミュニケーションを活発にしていく。CANVAS は、各地で子ども向けワークショップの活動をしている方々や企業、行政、アーティスト、学校教育関係者等、様々な分野の方々と連携しながら、全国の子どもたちの取り組みを活性化し、国全体の底上げを図っていきます。

DMC 機構 URL : <http://www.dmc.keio.ac.jp>

2004年に文部科学省科学技術振興調整費に戦略的研究拠点育成プログラムに採択され設立された組織です。これまで放送・映画・広告等一部の業界に限られていたデジタルコンテンツの創造と流通の活動を、一般の人々に開放し、新しい産業分野を切り拓くことを目的に、研究開発・国際流通促進・人材育成を展開しています。研究プロジェクトである「デジタル知財プロジェクト」(DIPP)では、デジタル時代のこどもの創造力・表現力に関する研究(デジタルキッズ)にも力を入れています。

本件に関する一般及び報道機関からのお問い合わせ先

*ご取材の向きは、事前に下記までご一報下さいますようお願い申し上げます。

“ワークショップコレクション 2008 in 慶應義塾” 運営事務局 (特定非営利活動法人 CANVAS 内)

担当：宮本

TEL : 03-5534-8088 FAX : 03-5534-8081

Eメール : press@canvas.ws